

# 長泉町国際交流協会

# NIEAだより



No.63 令和2年12月発行

ホームページアドレス <http://www.town.nagaizumi.lg.jp/soshiki/gyosei/kokusai/1004.html>



## コロナ禍での新しい交流 姉妹都市ワンガヌイ市とオンライン交流

9月11日(金)、町は姉妹都市ニュージーランド・ワンガヌイ市とZoomを使ったオンライン交流を行いました。

はじめに、ニュージーランドの先住民族であるマオリの歌で歓迎され、ハーミッシュ市長や池田町長らが、新型コロナウイルスによる町の状況やコロナ禍での交流について話し合いました。また、長島会長からは、昨年のワンガヌイ市訪問時のお礼が述べられ、今後も学生などの交流を通し、姉妹都市とのつながりを発展させていきたいとワンガヌイ市側に伝えました。

最後に、ラザフォード中学校の生徒が歌とダンスを披露し、町もそのお返しにわくわくダンスを披露しました。

NZでは、アーダーン首相による取り組みにより新型コロナウイルスの感染拡大防止に成功し、世界で称賛されています。いつか国境が開き、自由にお互いの国を行き来できる日がくるといいですね。



# マスク着用で、感染予防! 児童英会話を8月18、19日の2日間実施しました

毎年行っているこの講座、今回はコロナの影響で夏休みが短縮されたこともあり、例年の10日間から2日間に変更して行いました。

各学年ごとに3つのクラスに分かれて、フォニックス※や動作を表す言葉・チーム対抗ゲームなどが楽しめるよう工夫されたカリキュラムでした。動きを交え、話す機会も多くあり、親しみやすいアラン先生の人柄のおかげで、初参加の子ども達もリラックスした様子でした。

あっという間の2日間でしたが、この体験が子ども達にとって英語に興味を持てるきっかけとなればと願っています。

※つづりと発音のつながりを学ぶ方法



## 17人が参加! 後期英会話講座を行っています



10月7日から後期英会話講座が始まりました。新型コロナウイルス感染予防のため、人数を縮小し、マスクを着用して実施しています。今回から担当する講師の先生と楽しく英語を学んでいます。

講師紹介 Eric Iwan (エリック アイワン)  
所属 エブリワン・R・アカデミー長泉校

### Q1 出身は?

アメリカ合衆国のミネソタ州です。

### Q2 なぜ日本にきたの?

私も妻も日本文化が好きで、また、日本のクリスチャンとの交流に関心があったからです。特に、私は日本語を学ぶことが大好きで、なにより挑戦をすることが好きだからです。

### Q3 日本の好きなところや驚いたことは?

日本食と温泉を楽しんでいます。驚いたことは、日本がとても静かなこと、また“空気を読む”文化があることです。

### Q4 フリータイムは何をしているの?

私の住んでいる沼津市を探索しています。また、日本語を読めるようになりたいので、漢字の勉強をしています。

### Q5 英語を学ぶ人にアドバイスを

外国語を学ぶことは、とてもやりがいがあります。異文化に触れるチャンスをつかむことができるからです。たしかに英語は難しいですが、少しずつ地道に学んでいけば、必ず上達します。Don't give up!





2021 ニューージーランド フェア

# Kia Ora! ながいずみ

長泉町でニューージーランドを感じよう！



飲食店へ行き、ニューージーランドを感じられる  
期間限定メニューを楽しもう！

## Eat and Feel NZ

店舗にて限定メニューを食べることにスタンプを1つゲット  
スタンプ数に応じて、特典がもらえるよ！

1/16 **土** ~ 2/14 **日**

## ニューージーランド写真展

『もう一つの故郷』 photo by 伊藤秀海

1/25 **月** ~ 1/31 **日**

会場：チャレンジショップ（下土狩駅前）



## ワンガヌイ HOUSE

～ 小さな大使館 ～

はちみつなど NZ 特産品の販売会  
姉妹都市交流30年の歴史展  
ストリートビューでワンガヌイを散策

2/3 **水** ~ 2/7 **日**

会場：チャレンジショップ（下土狩駅前）



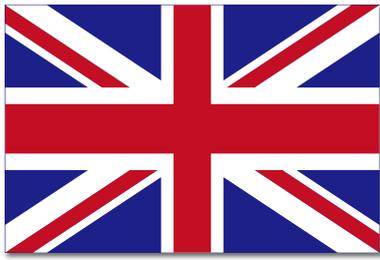
## ワンガヌイオンラインツアー

姉妹都市ワンガヌイ市の街並みを生配信！  
スタンプを1つ集めると参加に必要なURLをお送りします。

2/13 **土**



※飲食店の情報など詳細は、1月初旬にホームページにてお知らせします。  
※新型コロナウイルスの感染状況により、イベントの中止または一部内容を変更する場合があります。



# あんな国、こんな国、海外滞在記

## イギリス the United Kingdom

～紳士淑女はお天気の話がお好き～

### MEMO

首都：ロンドン  
人口：6,680万人（2019年）  
通貨：ポンド  
言語：英語



のどかな放牧風景

ロンドンから車で3時間ほどかかるイギリス中西部のテルフォードに住んで約3年半になります。羊が放牧され、馬が道路を歩いていたりする自然豊かな地域です。夏は夜10時頃まで日が沈まず、湿度も低くとても快適ですが、冬は15時頃に日が沈む時期があり、曇りや雨が多く暗いのでビタミンDのサプリを活用しつつ、室内を明るく保つように心がけています。また、イギリスは雨がが多いというイメージでしたが、一日中降り続けることは少なく一日の中でも晴れ、曇り、雨などコロコロと天気が変わりやすいです。人と会うと必ずと言っていいほど天気の話から始まるのもイギリスらしいと感じます。

市民講座や言語交流イベントを通して、英語を学ぶ多国籍な友人と出会うことができました。コロナ発生前には定期的に交流を行っていましたが、2020年10月時点のイギリスでは6人以上の集まりが禁止されているため、会うことは出来ません。現在はZoomアプリを活用し交流をしています。

医療費は国民保健サービスが税収により運営されており、原則無料ですが、不便なことがあります。例えば、住む地域ごとにかかりつけ医が決められており、専門医にかかるまで時間も手間もかかります。私は長女をイギリスの公立病院で出産しました。産後は医療費削減と母子の精神的な負担をなくすため、通常は即日退院ですが、私の場合は出血多量で調子が悪かったので、翌日に退院となりました。翌日でも心身ともに辛かった記憶が残っています。

コロナ発生当時は、マスクをする習慣がないためか、マスクをしづらい雰囲気がありました。政府による室内のマスク義務化で罰金が科せられるようになってからは、マスクや布で顔を覆う人がほとんどになりました。ロックダウン中には警察がパトロールする姿が多く見られ、強制力を強く感じました。一方で、病院スタッフやスーパーの店員さんに対して感謝の気持ちを表現する「Thank you Keyworkers」というメッセージとレインボウの絵が家の窓に飾られるなど、コロナ対応で働く皆さんへの尊敬と感謝の意思表示は素敵な文化だなと感じました。（伊藤彩）



折り紙と切り絵体験（市民講座）



国際交流イベントにておにぎりや緑茶の試飲を実施

発行 長泉町国際交流協会 編集 長泉町国際交流協会広報委員会  
編集委員 長島はるみ 吉川美紀子 八山富美代  
連絡先 長泉町役場行政課内 協会事務局 長泉町中土狩828 TEL 055-989-5500